



よく生きよ

大仙市立大曲中学校
1年学年通信 No. 21
令和元年7月11日

自然の中で生き生きと活動

7月4日(木)、5日(金)の2日間、小岩井農場、安比高原で蒼令学年初めての宿泊体験学習が行われました。

小岩井農場では小雨が降りしきる中ではありましたが、アトラクションを楽しんだり、ソフトクリームやジェラート、ピザなど、小岩井農場ならではのメニューを堪能したりすることができました。集合時間には雨も止み、クラス毎に写真撮影をすることができました。

安比高原に到着後、スキー場のゲレンデ周辺を会場にオリエンテーリングを行いました。地図とコンパスを頼りにチェックポイントを探して急斜面を上り、林の中を駆け巡りました。後半は雨にも降られましたが、無事に最後まで活動することができました。チェックポイントを回った点数とゴールの時間との総合で順位が決まり、3位までに入ったチームが表彰されました。

グループで協力して活動すること、時間を考えて行動することの大切さを考える機会になったことと思います。

小岩井農場にて



オリエンテーリング



総合成績

第1位 103組
佐藤 遼太
嶋貫 仁
木元 柚寧
佐藤 ひなた

第2位 101組
押久保 信
鈴木 達哉
佐藤 愛華
津嶋 優柚

第3位 106組
小坂 涼太
力丸 大和
田口 侑妃
武藤 百々

学級の絆を深めた学年レク

夕食後、学年レクリエーションを行いました。学年生徒会のメンバーが企画をし、準備を進めてきた学年レクリエーションでした。

1つ目は「フラフープ・リレー」でした。学級全員が1列に並び、フラフープをくぐりながらリレーしていきました。それぞれ、工夫しながら白熱したレースが展開されました。その結果、僅差を制して5組が優勝を飾りました。

2つ目は「人間知恵の輪」でした。輪になった班員がテープを交差させて持ち、時間内に一周した輪になれるかどうかを競いました。お互いに声をかけ合いながら、テープをくぐったり、体をひねったりしてチャレンジしていました。最もよい成績だったのは5班中4班が成功した5組、6組でした。

最後は「先生方出題〇×クイズ」でした。我々が出題した〇×クイズに学年全員でチャレンジしました。最後まで残ったのは7組の佐々木徳陽さんでした。残り4問で最後の一人になってからは連続正解を繰り返し、見事優勝を勝ち取りました。徳陽さんは「後半はみんなの意見で決めたところもあったけれど、自分で考えてしっかり決めることもでき、正解してよかった。」と感想を述べてくれました。

総合成績は2種目で好成績を上げた5組が優勝。1組が準優勝、3位は7組、8組が同点で入賞となりました。学級全員で勝利を目指して、一生懸命になり、楽しい笑顔がたくさん見られた学年レクリエーションでした。〇×クイズの最後には学年全員が徳陽さんを応援してみんなで盛り上げていたのも素晴らしい光景だったと思います。これからも、学級の力、学年の力を結集して楽しい経験を積み重ねていってほしいと思います。

フラフープ・リレー



人間知恵の輪



〇×クイズ



優勝インタビュー



優勝の瞬間

